

平成25年度第1回動物実験委員会議事概要

日時：平成25年5月28日（火）15:01～16:20

場所：事務局第2会議室

出席者：櫻井委員長，宮田（正）副委員長，有川委員，三宅委員，後藤 貴文委員

列席者：（報告・申請者）平尾教員，富田 匡斐研究科生

（事務局）城戸連携推進課副課長，藤井主査，秦課員

審議に先立ち，櫻井委員長から挨拶があり，その後，委員及び列席者から自己紹介があった。

その後，委員長から福岡教育大学動物実験規程（以下「規程」という。）の確認の際，規程第6条第1項5号委員に外部の専門家として，後藤委員に入っている旨の説明があった。

議 題

1. 副委員長の選出について

- 委員長から，副委員長は規程第7条第2項に基づき，委員の互選によって選出願いたい旨説明があった。
- ◎ 審議の結果，宮田（正）委員を副委員長として，選出した。

2. 平成24年度動物実験報告書の事後審査について

- 委員長から，平成24年度に実施された動物実験について，事後審査を実施するに当たり報告者の教員と研究科生を列席させることについての確認があり，了承された。
- 申請者から，報告書に基づき平成24年度に実施された動物実験の概要について報告があった。
- 委員と報告者との間で，以下について質疑応答があった。（□：委員，■：報告者）

□：納入方法について確認したいが，どのように実験動物は入手されたか。

■：専門のアイガモ農家から，無償で分けていただいた。

□：実験動物の屠畜後の処分方法について教えていただきたい。

■：屠畜後は，「命の授業」として学生と一緒に食した。

□：食す必要はあったのか。また，食す際の衛生確認は行われたのか。

■：「アイガモ農法」は畜産の要素もあり，食することを以て完結するものである。また，屠畜後は専門家に加工を依頼する際に，安全確認まで行っている。

○ 質疑応答終了後，報告者は退室し，提出された報告書とヒアリング結果を基に審議を行った。

◎ 審議の結果，実施された動物実験について，報告者に注意を促し，その点が議題3の動物実験計画書で改善されているか確認をすることを条件に，追認した。

3. 平成25年度動物実験計画書の審査について

- 委員長から，平成25年度に実施された動物実験について，審査を実施するに当たり引き続き申請者の教員と研究科生を列席させることについての確認があり，了承された。
- 申請者から，申請書に基づき平成25年度に実施予定の動物実験計画の概要について説明があった。
- 委員から，申請者に鳥インフルエンザ対策を含む緊急時の対応について確認があった。
- 申請者から，本委員会が作成した動物実験危機管理マニュアルに基づき適正に対応できるように努める旨の説明があった。
- 質疑応答終了後，申請者は退室し，提出された申請書とヒアリング結果を基に審議を行った。
- ◎ 審議の結果，申請された動物実験計画について承認した。

4. 平成24年度動物実験に関する自己点検・評価について

- 委員長から、配付資料に基づき、議題2での審議も踏まえて、平成24年度の動物実験に関する自己点検・評価を事務局が作成した原案を基に自己評価を行う旨の説明があった。
- 事務局から、本自己点検・評価報告書の取り扱いについての説明及び資料についての補足説明があった。
- ◎ 審議の結果、原案の一部を修正の上、平成24年度動物実験に関する自己点検・評価報告書を承認した。